

天草空港の青空市場に多くの人出

天草空港マルシェ

天草の特産品などを販売する青空市場の「天草空港マルシェ」が6月8日、五和町城河原の同空港で開催されました。島んもんマルシェ実行委員会と天草空港利用促進協議会が、同空港の活性化を目的にスタートした催しです。地元でとれた野菜や料理、手作り雑貨などの販売のほか、ライブなどのステージイベントが行われ、市内外の約1,200人の来場者でにぎわいました。なお、この催しは毎月第2日曜日（次回は7月13日㊤）に開催される予定です。



▲野菜を買い求める来場者

英会話を楽しく学ぶ

市内の小学校で英会話の授業を実施

文部科学省の教育課程特例校の指定を受けた亀川小学校と楠浦小学校では、子どもたちから英語に慣れ親しんでもらいコミュニケーション能力を養うことなどを目的として、4月から英会話科の授業を実施しています。

6月13日には、亀川小学校の3年生の児童が教職員や外国語指導助手の指導を受けながら数の数え方の練習や、じゃんけんゲームを英語で実施。児童は楽しそうに取り組んでいました。市教育委員会では、今後、平成28年度から市内全小学校で英会話の授業を開始する予定です。



▲じゃんけんゲームを行う児童たち

安心して暮らせる町を目ざして

栖本地区防災訓練

5月25日、「栖本地区防災訓練」が栖本町内一円で実施され、市消防団栖本方面隊と地域住民など約800人が参加しました。訓練は、地震や津波などの災害が発生したと想定し、町内12区で避難・消火訓練などを実施。参加者は、消防団員の指導を受けながら地域や身を守る方法などを再確認していました。



▲消火訓練をする参加者

環境問題に興味を持とう！

親子で海ごみ調査隊

5月17日、環境問題に興味をもってもらおうと「親子で海ごみ調査隊」が魚貴町の魚貴崎海水浴場で行われ、市内外から30人が参加しました。海辺の漂着物などを拾い集めている天草ビーチコーミング研究会が開催したもの。同海水浴場の清掃活動を行った後、近隣の宿泊所で県環境センターの浅野道明さんが「生活ごみについて学べ」と題して講義を実施。「1日に出る1人あたりのごみの量の平均は、県より天草市の方が多し」などと話され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲ごみ拾いをする参加者

自然あふれる天草での体験を満喫

新和町で初めて修学旅行生を受け入れ

民泊による修学旅行生の受け入れを進めている新和町では、5月14・15日に町内10軒で初めて修学旅行生を受け入れました。訪れたのは、兵庫県相生市にある矢野川中学校3年生の生徒38人。14日には歓迎式典が行われ、しんわ楊貴妃太鼓が披露されたほか、生徒と受け入れる家族との対面を実施。その後、各家に分かれた生徒たちは、受け入れ家族といっしょに夕食を作るなどして交流を深めました。翌15日には、農作業や魚釣りが行われ、生徒たちは自然あふれる天草での体験を満喫していました。



▲夕食を囲む生徒たちと受け入れ家族

音楽と芸術、地元の食が集結

天草西海岸MAF CAMP2014

5月24日、「MUSIC（音楽）」と「ART（芸術）」「FOOD（地域の食）」をテーマにした催し「天草西海岸MAF CAMP2014」が、天草町の旧下田南小学校の校舎を主会場に開催されました。下田南地区振興会が、地域の活性化と廃校の活用を目的に初めて行ったもので、約1,100人が来場。来場者は、プロのミュージシャンによるライブを聞いたり、芸術のコーナーで木板に自由に絵を描いたりして楽しんだほか、せんだご汁やがねあげなどの郷土料理を堪能していました。



▲ライブのようす